

北夙川通りに面する敷地に建つ約22坪の小さな住宅は、建物の耐震・温熱性能・デザイン・住みやすさ全てを重視したいという施主のこだわりをふんだんに詰め込んだ道行く人々の目に留まる個性的な建物となった。また、構造材・内外装材に国産材をふんだんに使用し、日本の気候・風土に馴染む建築とした。北夙川通りは、緑豊かな公園や夙川など自然を感じられる場所である。ケヤキ並木や沿道の街並みに馴染む様に、各室の心地よい高さ、広さを施主と共に検討し極限まで建物高さを低くすることで、道路からのフォルムを小さく見せ、周辺環境に配慮した。



■ 外観

左官屋が調合したオリジナルのモルタルを使用した掻き落とし仕上げで、メンテナンスフリーの外壁とした。複数のサンプルの中から木部と相性の良い色合いを選んだ。木部は表面を荒々しく仕上げた帯鋸仕上げの国産熊野杉材(和歌山県)を使用した。押縁仕上とすることで縦線が強調され、よりモルタルとの対比を感じることができる。また、傷んだ部分のみ簡単に取替られる様にした。極限まで建物高さを低くすることで、道路からのフォルムを小さく見せ、周辺環境に馴染む様にした。

■ 建物概要

敷地面積	70.30	m ²	断熱性能	屋根	フォノバボード	構造性能	耐震等級3
建築面積	42.05	m ²	壁	セルローズファイバー	太陽光発電	耐風等級2	
床面積 1F	35.98	m ²	基礎	カネライトフォーム			
床面積 2F	37.15	m ²	省エネ性能	BELS評価取得			
延べ床	73.13	m ²					

■ 外部仕上

バルコニー	金属防水
外壁	国産熊野杉(和歌山県)板縦張り 押縁仕上げ、モルタル掻き落とし、ガルバリウム鋼板
屋根	ガルバリウム鋼板タテハゼ葺き t=0.35
軒天	杉 荒材
ポーチ	床:大谷石300×900 軒天:木毛セメント板

